特許協力条約

PCT

国際調查報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人	今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220		
の書類記号 P36710-P0	及び下記5を参照すること。		
国際出願番号	国際出願日	優先日	
PCT/JP2005/004966	(日.月.年) 18.03.2005	(日.月.年) 15.04.2004	
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社			

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条 (PCT18条)の規定に従い出額人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で ____3__ ページである。

厂 この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

- 1. 国際調査報告の基礎
- b. 「 この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第1個参照)。
- 2. 「請求の範囲の一部の調査ができない(第Ⅱ欄参照)。
- 3. 「 発明の単一性が欠如している(第Ⅲ欄参照)。
- 4. 発明の名称は
- □ 出願人が提出したものを承認する。
- 次に示すように国際調査機関が作成した。矩形領域に対するバーストメモリアクセス方法
- 5. 要約は
- ▽ 出願人が提出したものを承認する。
- 「第Ⅳ欄に示されているように、法施行規則第47条 (PCT規則38.2(b)) の規定により 国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ の国際調査機関に意見を提出することができる。
- 6. 図面に関して
 - a. 要約書とともに公表される図は、

第 ___4 __ 図とする。 厂 出願人が示したとおりである。

□ 出願人は図を示さなかったので、国際調査機関が選択した。

▶ 本図は発明の特徴を一層よく表しているので、国際調査機関が選択した。

b. 厂 要約とともに公表される図はない。

発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) Int.CL7 G06F12/02, 13/28, G06T7/20, H04N5/907, 7/32

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int.Cl.7 G06F12/02, 13/28, G06T7/20, H04N5/907, 7/32

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

1922-1996年

日本国公開実用新案公報

1971-2005年

日本国実用新案登録公報

1996-2005年

日本国登録実用新案公報

1994-2005年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献 引用文献の 関連する カテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 請求の範囲の番号 JP 2000-348168 A (ソニー株式会社) 2000.12.1 χ 1, 2, 4, 5, 12 5, 第4欄第34行-第10欄38行、第3-第4図&WO 2000/062550 A1 & EP 1089567 A1 Y 2, 4, 5 A 3,6-11

区欄の続きにも文献が列挙されている。

「パテントファミリーに関する別紙を参照。

- * 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって
- 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用す 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 る文献(理由を付す)
- 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献

- の日の後に公表された文献
- 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 - の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの

国際調査を完了した日 12.04.2005	国際調査報告の発送日 10.05.	2005
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官 (権限のある職員) 滝谷 売ー	5N 3135
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 P	为線 3586

C (統		
引用文 カテゴ		関連する 請求の範囲の番号
X	JP 7-220059 A(富士通株式会社) 1995.08.18, 第6欄第50行-第7欄21行、第5図&GB 2289199 A	1, 12
Y		2, 4, 5
A		3, 6-11
A	WO 1998/009444 AI (松下電器産業株式会社) 1998. 03.05, 第16頁、第2図 & EP 859524 AI & US 6075889 A	1-12
A	JP 10-191236 A(日本電気株式会社)1998.07.21, 第6欄第20行-第8欄12行、第3図 & US 6212231 B1	1-12
	·	